

患者さんへ 当院で実施する研究に対するご協力をお願い

「糖尿病教育入院期間中に運動療法が糖尿病患者の筋肉に及ぼす影響について」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2023年7月より2024年5月までに、和泉市立総合医療センター内分泌・糖尿病内科で血糖マネジメントを目的に教育入院(約14日間)した2型糖尿病患者さんを対象とします。
2 研究目的・方法	<p>日本糖尿病学会の糖尿病診療ガイドラインにおいて、2型糖尿病患者に対する有酸素運動^{※1}とレジスタンス運動^{※2}はともに単独で血糖コントロールに有効であり、併用によりさらに効果が高まるとされています。当院において2019年8月より糖尿病治療目的で入院された糖尿病患者に対して自宅退院後の身体活動の増加を目的とした有酸素運動とレジスタンス運動を中心とした運動療法の指導を行っています。運動療法の効果は多方面から示されているにもかかわらず、入院期間中の比較的短期間の運動療法の効果を検討した報告は乏しいのが現状です。</p> <p>この研究では、2型糖尿病患者を対象として、入院期間中に運動療法が筋肉に及ぼす影響と、その影響に関与する要因を明らかにしようと考えています。これにより、2型糖尿病患者さんにテーラーメイド(個別化)の運動療法を提供出来るようになることが期待できます。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年5月予定)後~2024年9月</p> <p>※1: 酸素を利用して体内の糖質や脂質をエネルギー源として筋肉を動かす運動(ウォーキング、自転車エルゴメーター運動 等)</p> <p>※2: 筋肉に負荷をかける動きを繰り返す運動(ゴムバンド運動、体幹トレーニング、自転車エルゴメーターを用いたインターバルトレーニング 等)</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	研究患者背景(年齢、性別、身長)、病歴情報(病歴、合併症、治療内容、入院期間、食事摂取カロリー)、入院前の検査値(HbA1c)
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先</p>

	<p>研究責任者: 林 孝明 和泉市立総合医療センター・リハビリテーション部、理学療法士 住所: 大阪府和泉市和気町 4-5-1 連絡先: 0725-41-1331</p>
--	--

2024年5月29日作成(第1.1版)